

虹の原特別支援学校創立20周年を迎えて

虹の原特別支援学校

校長 宮崎耕二



本年度、虹の原特別支援学校は創立20周年を迎えました。本来であれば、本校恒例の「虹のまつり」と合わせて、小学部・中学部・高等部の全児童生徒、教職員、保護者、地域の方、OBの教職員の皆様、関係機関の皆様をお招きし、一同に会してお祝いをしたところでしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、虹のまつりの小学部・中学部・高等部の別日実施、また、来場制限を行うこととしたため、皆様の前で、ご挨拶とお礼を申し上げる機会がありません。そのため、このページを創立20周年のお礼のご挨拶に代えさせていただきます。

本校は、平成14年度に前身の久原養護学校から、現在の宮小路に移転し虹の原養護学校として新たなスタートを切りました。その後、平成22年度に虹の原特別支援学校と校名が変更となり、今年度で20周年を迎えることとなりました。

平成14年度開校当初は、小学部43名、中学部49名、高等部84名の計176名の在籍者数でしたが、現在は小学部83名、中学部76名、高等部149名、計308名の児童生徒が在籍する県内一の大規模校となっています。

この間、保護者、地域の方、関係機関の皆様、そして歴代校長先生をはじめとした教職員の皆様のご尽力とご支援をいただき、整った教育環境のもと、充実した教育活動が展開できていますことに深く感謝申し上げます。本校の校訓である「自尊・自主・自立」の精神は、この20年間、脈々と引き継がれ、毎日、児童生徒が、笑顔と活気あふれる充実した学校生活を送っています。

この20年の間、平成19年度に壱岐市立盈科小学校内に小中学部壱岐分教室が設置され、平成27年度に壱岐高等学校内にある高等部壱岐分教室と合わせて虹の原特別支援学校壱岐分校となりました。平成24年度には、対馬高等学校内に高等部対馬分教室の設置、平成30年度に虹の原特別支援学校本校に就業サービス科の設置がなされるなど、発展を遂げてきました。県内の知的障害特別支援学校において、唯一の寄宿舎も設置され、しま地区や遠隔地の児童生徒も学んでいます。

この1年間、創立20周年記念のスローガンを「いつまでも元気いっぱい虹の原～輝け青春虹の原～」として掲げ、20周年記念を盛り上げています。さらに虹のまつりの各学部の発表においては、小学部・中学部・高等部の児童生徒が、「20歳の誕生日おめでとう」の気持ちを込め、趣向を凝らしたセレモニーも行います。また、虹のホールには、小学部と高等部の児童生徒が制作した20周年記念の横断幕、玄関入口上部には、中学部が制作したモザイクアートを飾っていますので、ぜひご覧ください。

本年9月には、西九州新幹線が開業し、本校前には「西九州新幹線『大村車両基地』」、大村車両基地駅が建設され、本校周辺も益々発展することが予想されます。この虹の原特別支援学校も、教職員一同力を合わせ、「チーム虹の原」として、子供たちの成長を支え、地域に貢献できる学校として発展できるよう今後も努めてまいります。引き続き温かいご支援とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。